

情報公開システム



Blitz CONNECT

Blitz CONNECT (ブリッツ・コネクト) は、
インターネットに管路施設や水位等の情報を公開するシステムです

管路情報

- 〈自治体〉
 - ✓ 埋設確認の事務負担が削減されます
- 〈事業者〉
 - ✓ 埋設状況を確認したい事業者は来庁する手間が省けます

豪雨情報

- 〈住民〉
 - ✓ 豪雨時には住民がリアルタイムに水位やライブ映像を取得できるため迅速な水防活動や避難行動に役立ちます

BlitzCONNECTでできること



設備の位置情報や映像の公開

水道管路、下水道管路、水路の位置、水位・ライブ映像をインターネットで公開。



住所や設備情報の検索

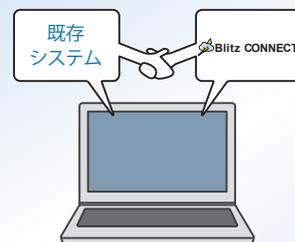
町丁目や施設名での検索が可能。水位・ライブ映像の位置情報は地図からの検索で対応。



最新の地図を利用

更新頻度が高い Google Maps[®]を利用。国土院が公表する地図についても利用可能。

※Google Maps (許諾番号 Z15DL 第 1243 号)
Google Maps は Google LLC の商標又は登録商標です。



管路台帳システムとの併用

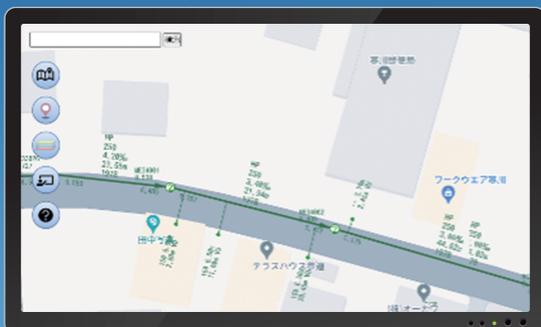
既に管路台帳システムが導入されていても Blitz CONNECT を構築し併用することも可能。既存データを利活用できます。

BlitzCONNECT 構築フロー

管路情報は公開する情報が決まれば簡単に構築できます。

豪雨情報は水位計、ライブカメラの選定・設置場所が決まれば簡単に構築できます。

管路情報



作成方法

管路の電子データをご提供いただき、システムの構築・テストを行います。

- ※既存システムがある場合を想定
- ※作業期間目安：2～3か月

STEP 1 <お客さま>
管路の電子データ(シェープ形式)をご用意

STEP 2 <お客さま>
公開する属性情報の決定

STEP 3 公開する属性情報の取込み
管路の色等の設定

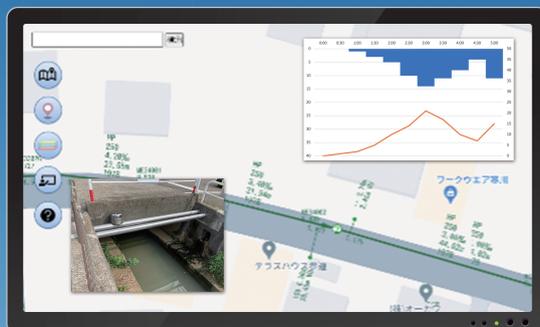
STEP 4 テスト

STEP 5 <お客さま>
動作確認

STEP 6 公開



豪雨情報



作成方法

機器の設置場所や機種を検討を含め、ご提案・システム構築を行います。

- ※作業期間目安：6か月～

STEP 1 水位計、ライブカメラの設置場所、機種のご提案

STEP 2 <お客さま>
設置場所、機種のご決定

STEP 3 水位計、ライブカメラの設置

STEP 4 公開する情報の取込み

STEP 5 テスト

STEP 6 <お客さま>
動作確認

STEP 7 公開